

# 新型コロナウイルス感染症拡大 防止対策ガイドラインを制作し、 取り組んでいます

---

感染リスクを最小化にして、子ども達とコーチ陣が安心してラグビーが取り組める環境を目指します。

つくしヤングラガーズ

2022.5.13

▶▶▶ 次の事項に該当する場合は、練習に参加できません。

Point!  
↓



家族や身近な知人に  
高熱や感染が  
疑われる方がいる



休校／学年閉鎖／学級閉鎖  
など学校・行政指示により  
自宅待機の対象になっている方



保護者の同意を  
得ていない場合



発熱



咳



のどの痛み



息苦しい



倦怠感



味覚の異常

## ▶新型コロナウイルス感染症の関係者発症時におけるクラブ活動制限期間について

クラブ内での、新型コロナウイルス感染症による陽性者と濃厚接触者（同居者）については、次のとおり取り扱います。

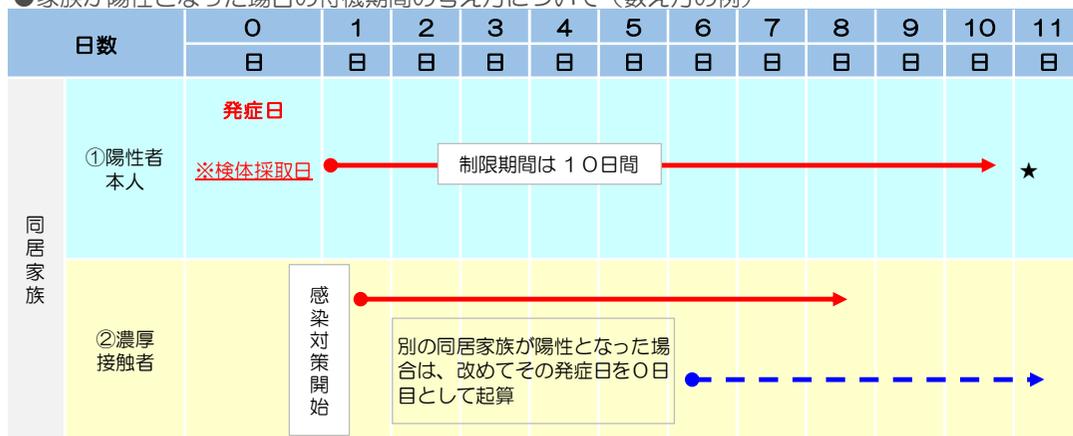
### 【活動の定義】

- ・グラウンド滞在の陽性者が判明した学年については、判明後、当該学年の直近の練習を停止します。  
（※ただし、公式戦を控えた学年については、練習日の1日前まで経過観察し、実施を判断します。）
- ・活動再開にあたっては、必要に応じPCR検査又は抗原検査の実施を求めることがあります。
- ・大会規定等に抵触する場合、または安全が担保できない場合等は、活動停止（チームの出場辞退含む）とすることがあります。

### 【感染の定義】

- ・発症日（0日目）とは、一般的には、発熱、咳、咽頭痛、鼻水などの症状が出始めた日、また無症状の場合は検体採取日（0日目）です。
- ・待機期間の起点日は、発症日または検体接種日のいずれか遅い日を起点日（0日目）とします。
- ・検査陽性者のほかに当該同居者で新たに発症した者がいる場合は、あらためて当該同居者の発症日（無症状病原体保有者の場合は検体採取日）を0日目として起算します。
- ・当該検査陽性者が診断時点で無症状病原体保有者であり、その後発症した場合には、その発症日を0日目として起算します。

●家族が陽性となった場合の待機期間の考え方について（数え方の例）



【陽性者】入院・宿泊・自宅療養 ⇒（管轄）住所地の保健所

- ・発症日（検体採取日）の翌日から10日間経過し、かつ症状軽快から72時間経過すれば制限解除★。
- ・11日目から検査不要で活動参加可。
- ・症状が長引いた場合、症状軽快から72時間経過必要。（療養の延長となる）

【濃厚接触者の場合】

- ・感染対策開始から継続して7日間無症状で経過すれば、翌日から活動参加可。
- ・待機期間中に同居者に症状が出た場合、その日から10日間の療養となる。

## ▶▶▶ 練習前2回の検温と手洗い消毒の徹底

自宅の検温で、  
発熱がないことを  
確認して下さい



「体温が37℃以上」「平熱より高い」場合は  
経過観察し、再度、検温します。  
「37度以下」「平熱」になればグラウンドへ

午前と午後で体温は異なります。  
平日の体温測定も欠かさず体調管理を  
しましょう

グラウンド  
到着後、  
まずは手を消毒



『練習場所に着いた時』『グラウンドに  
入る時』『休憩時』『練習終了時』には  
選手、コーチは手を消毒をします。

第三者の検温および  
体調チェックの後に  
グラウンドに入ります



- 発熱37.5℃もしくは事前報告との体温差
- 咳、のどの痛み、倦怠感、息苦しさ

## ▶▶▶ 参加者名簿の作成について

参加者に感染者が確認された場合、速やかに濃厚接触者の調査を行う必要が生じます。

そのため、「全参加者の氏名」や「連絡先」等の個人情報の提出を求められる場合がありますので、つくしヤングラガーズでは毎回作成します。

「参加者名簿」を作成のうえ保管し、施設や保健所に提出を求められたら、感染拡大防止の観点から「参加者名簿」は速やかに提出します。

※ 提出いただいた個人情報は、  
感染症拡大防止対策以外の目的には使用しません。



## ▶▶▶ 留意事項

- 健康状態の維持に支障が出る場合を除き、グラウンドではマスクを着用し、大きな声での会話や応援等をしない。
- 感染を防止するため、当番及び給水係は防水性がある手袋の着用を推奨。
- 水分は各自で用意します。但し、熱中症疑いなどの緊急時は除きます。
- ヘッドキャップやタオル、ビブスの共用は控えます。
- 保護者の見学は当番制にして最小限に留めます
- グラウンドでの昼食は厳禁とする。（例外もありますので、事務局まで御相談下さい）
- チームが用意したハンドソープ等を使用し、施設備品は使用しません。
- 練習終了後は、できるだけ速やかに解散し、施設から退場してください。
- 練習に参加した後、1週間以内に感染者が確認された場合は、事務局へ速やかに連絡。

### ■不織布マスク着用

布製やウレタン製のマスクを着用している人は「濃厚接触者」となる可能性があること、不織布マスクに比べて吐き出し・吸い込み飛沫量が半分以下の効果であると研究結果が発表されている観点から、不織布マスクを着用をお願いします。オリジナルマスクをする場合は、そのマスクの下に不織布マスクの着用をお願い致します。

## ▶▶▶ 参考資料

令和3年5月31日

大野城市教育委員会スポーツ課

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る運動・スポーツ活動上の留意事項より参考

<http://www.city.onojo.fukuoka.jp/s076/ryuuijikou.pdf>

令和3年5月31日

大野城市スポーツ施設等の利用に係る誓約書より参考

<https://www.onojo-sports.or.jp/wp-content/uploads/ibenntoseiyakusyoyo6-21.pdf>